

第2回審議会における委員意見への対応

参考資料2

該当箇所	委員意見	修正前	意見への対応（修正後）
① 資料全般	現行計画と比較し、継続事業や拡充事業などが分かりやすくするよう見せ方に工夫が必要	-	課題に対応する重要な施策に★をつけて分かりやすく表示（審議会用）
② 資料全般	分かりやすく、取組を図表化したものの作成が必要	-	別添参考資料1（計画の概要版）を作成
③ 資料全般	文言の整理が必要（具体化、横文字の説明、重複している部分の削除）	-	一部文言を整理 一部用語に補足説明または()書きを追記
④ P18伝統芸能等の継承・発展	伝統行事の支援にあたり、お祭り（お助け隊）だけではなく、民族芸能に関しても留意が必要	伝統芸能に関する専門性を有する県有文化施設と市町村の文化施設が連携や協力をしながら、伝統芸能の鑑賞や体験の機会を県内各地で提供します。また、各地で継承される祭礼や神楽等の地域の民族芸能を発信し、担い手の参加や交流を支援します。	伝統芸能に関する専門性を有する県有文化施設と市町村の文化施設が連携や協力をしながら、伝統芸能の鑑賞や体験の機会を提供します。また、 県内 各地で継承される祭礼や神楽等の地域の民族芸能を 発信する とともに、 その現代的な表現や創造を支援し 、担い手の参加や交流を 促進 します。
⑤ P25学校教育における文化芸術活動の充実	本物の演劇やコンサートを体験させるため、会場やホールになかなか行けない子どものたちを連れていく施策が必要	② 「アクロス福岡」において、小・中学校を九州交響楽団によるクラシック演奏会に招待し、質の高い芸術を鑑賞する機会を提供します。	② 「アクロス福岡」において、小・中学校を九州交響楽団によるクラシック演奏会に招待するなど、 子どもが質の高い芸術を鑑賞する機会の充実 を図ります。
⑥ P33文化芸術を活用した地域活性化	アンケート調査の結果である地域格差については、効果的な施策を検討すべき	-	以下の内容を追記 ③ 文化芸術活動を活用したまちづくりの基盤整備のため、地域と文化芸術をつなぐ、地域に根差した専門人材を育成するとともに、地域の文化資源を活用した新たな価値創造を目指す取組を支援します。 ⑥ アーティスト・イン・レジデンスの実施によるアーティストと地域の交流等により、文化芸術を基幹とした地域活性化に取り組みます。
⑦ P35推進体制	推進体制の市町村の部分に「地域課題」、「社会問題」といった文言がない	・文化芸術の振興は、住民にとって最も身近な行政主体である市町村が、その地域の実情を踏まえながら取り組むことが、効果的であり重要です。	・文化芸術の振興は、住民にとって最も身近な行政主体である市町村が、その地域の 特色や課題 を踏まえながら取り組むことが、効果的であり重要です。
⑧ P35推進体制	「県は、地域の総合的なプロデューサー、コーディネーターとして」の文言は改めるべき	・県は、地域の総合的なプロデューサー、コーディネーターとして、県民の文化芸術活動が円滑に行われるための条件整備や環境づくりを進めます。	・ 県は、 広域的な行政機関 として、県民の文化芸術活動が円滑に行われるための条件整備や環境づくりを進めます。

追加意見照会における委員意見への対応

参考資料2

該当箇所	委員意見	修正前	意見への対応（修正後）
① 資料全般	審議会でも、何人かの委員からご意見が出ていましたが、横文字で意味の分からぬ用語が多く、施策の意味が理解できないことがあります。文化振興という面からは普通に使われている用語なのでしょうが、一般社会で使われていないような言葉は、できるだけ日本語にすべき、それができない場合は（ ）書きで日本語に訳した言葉を入れて下さい。なぜならば、この基本計画は県民誰もが読んで理解して、実行していくべきものと考えるからです。	-	横文字や固有名詞で分かりづらい一部用語には、補足説明または（ ）書きを追記
② P4国の動向 P5県の動き	【2 国の動向、3 県の主な動き】で、国は令和5年4月に「こども基本法」を施行。福岡県においても令和7年3月に「福岡県こども計画」を策定し、全てのこどもが持つ権利の保障に取り組み、様々な施策（文化芸術の鑑賞、体験機会の提供など）を講じているところである。よって、法や計画を記載した方がよいのではないか。	-	国の動向及び県の主な動きに下記を追記 （8）「こども基本法」の施行及び「こども大綱」の策定 国は、令和5（2023）年4月に施行された「こども基本法」に基づき、全てのこどもが権利を保障され、健やかに成長し、幸福な生活を送ることができる社会（こどもまんなか社会）づくりを目的に、従来の3つの個別大綱である「子供・若者育成支援推進大綱」、「子供の貧困対策に関する大綱」、「少子化社会対策大綱」を「こども大綱」に一元化しました。 （8）「福岡県こども計画」の策定 令和7年（2025年）3月に、こどもに関する複合的な課題に対応し、文化芸術に関する施策も含めて、総合的にこども施策を推進していくため、国の「こども大綱」を踏まえ、こどもに関する計画を一本化した「福岡県こども計画」を策定しました。
③ P16施策の展開	「第4章の施策の展開」では、時代の変化に対応して、次期基本計画では、どのような施策を新たに展開していくのかが解り易くなるよう工夫すべきではないかと思います。	-	課題に対応する重要な施策に★をつけて分かりやすく表示（審議会用） 別添参考資料1（計画の概要版）を作成
④ P25文化芸術を育む人づくり	【（1）文化芸術を育む人づくり】において、福岡県出身の芸術家、作家、研究者等を広く県民に周知・紹介するような記載があるとよいのではないか。	-	顕彰の実施に以下を追記 ③ 福岡県文化賞の贈呈及び福岡県地域文化功労者表彰により、本県出身の芸術家や作家等を広く周知します。
⑤ P25顕彰の実施	【エ 顕彰の実施】において、教育や学術、文化等の振興に貢献した個人と団体について、その業績をたたえる表彰である、「福岡県教育文化表彰」を記載した方がよいのではないか。	-	顕彰の実施に以下を追記 ④ 福岡県教育文化表彰により、本県における教育文化の振興に貢献し、その功績が特に顕著な個人、団体及び学校その他教育機関を表彰します。

追加意見照会における委員意見への対応

参考資料2

該当箇所	委員意見	修正前	意見への対応（修正後）
⑥ P13柱2について	<p>P13の柱2の記載について、下記のとおりとすべき «柱2»文化芸術に親しむことができる環境づくり</p> <p>福岡県が長年にわたり先人たちから受け継いできた文化や芸術の営みには、西日本一帯から広大なアジア大陸を橋渡しする地政学的な地域固有性に加え、創意工夫を重ねた農林水産業が収穫してきた豊かさや、大地の資源採掘や工業化によるイノベーションの成果が背後に備わり、全国的にも稀有な攻守バランスの優れた農工商県として未来への資産価値や資源価値が内在されています。こうした特性に立ち、次世代へ向け県民誰もが文化芸術に浴しながら自らの人生や暮らしを豊かに育むため、さらなる文化芸術に親しむ優れた環境づくりを構想する必要があります。そこには暮らしやなりわいを包み込む地域の自然、歴史、文化等と生活や経済活動等とが調和をなし安心安全を生み出していく地域固有の景観も大切に守られながら次世代へ継承されなければなりません。</p> <p>こうした豊かな文化芸術の資産価値や資源価値の可能性を次世代へ受け継ぎ発展させていくためには、福岡県全体を俯瞰しうる文化芸術事業のマスター・プランづくりを皮切りに、県内4地域をフォローする個別の文化芸術施設マネジメント企画構想から実践・実現、そして事業評価（フィードバック）を推進します。さらに県内自治体の文化行政主導による文化芸術事業や民間事業者とのネットワーク化、さらには県・自治体・民間を横断しながら活躍しうる創造的な文化芸術専門人材の育成、ならびに県民全体の文化芸術受容へ向けたリテラシー育成や教育普及活動へ至る課題全てに対して自律的な責任と独立性を持つ専門組織としての「アーツカウンシルふくおか」（仮称）が設立されることが急ぎ望されます。同組織の運営と陣容に関しては、かつて英国が1946年に世界に先駆け黎明期アーツカウンシル組織を設けた際「アームズ・レンジ」（arm's length principle :ALP）を基本とした態度をお手本とする必要があり、福岡県文化行政が制度設計ならびに組織化提案をしながらも、実際には行政から分離独立した「アーツカウンシルふくおか」（仮称）設立自体を当初のミッション（社会的使命）を持った業務として展開することが期待されます。</p> <p>むろん「アーツカウンシルふくおか」（仮称）は行政からの十分な予算に立脚しながらも組織的には独立したものとします。その上で複数の文化芸術領域専門家が緻密な文化資源調査と次世代へ向けた投資計画に立ち高次の合意を生み出し、福岡県固有の文化芸術マスター・プランならびにアクション・プラン（実施計画）を構築、併せて文化芸術を担う人材の育成や支援を行うことをミッションとします。</p> <p>また「アーツカウンシルふくおか」（仮称）は福岡県教育行政と連携を取り合いながら、子どもたちが日々の暮らしの中で文化芸術に触れること、感じること、学ぶこと、表現すること、こうした成果を必ず社会に返すことができる機会の充実を図るよう貢献していきます。</p> <p>さらに、文化施設以外の地域の居場所等における県民の誰もが文化芸術に触れる機会の充実にも努めています。</p> <p>そして県民がその年齢、障がいの有無や国籍、経済的な状況又は居住する地域にかかわらず、等しく、文化芸術を鑑賞・参加・創造することができるしなやかでインクルーシブ（社会包摂的）な環境づくりを進めることで、県民全体のウェルビーイング（心身健康に生きることでとても気持ちが良い状態）を向上させていくことをめざします。</p>	<p>「柱2」文化芸術に親しむことができる環境づくり</p> <p>県民の誰もが文化芸術に親しみ、文化芸術がもたらす効果を享受できるように、県内各地の劇場やホール、博物館・美術館などの文化施設において多様な文化事業を展開し、文化芸術に触れ親しむことができる環境づくりを進めます。併せて、地域の自然、歴史、文化等と人々の生活、経済活動等との調和により形成される景観を保全し活用することにより次世代に継承していきます。</p> <p>本県で育まれてきた文化芸術を次代に受け継ぎ発展させていくためには、文化芸術の担い手となる芸術家や文化芸術団体、文化施設の運営やアートマネジメントに携わる育成・確保が必要です。「福岡県アーツカウンシル（仮称）」を設立し、文化芸術を担う人材の育成や支援を行います。</p> <p>また、子どもたちが、日々の暮らしの中で文化芸術に触れること、感じること、学ぶことができる機会の充実を図ります。</p> <p>さらに、文化施設以外の地域の居場所等における県民が文化芸術に触れる機会の充実にも努めます。</p> <p>そして、県民がその年齢、障がいの有無や国籍、経済的な状況又は居住する地域にかかわらず、等しく、文化芸術を鑑賞・参加・創造することができるインクルーシブな環境づくりを進めていきます。</p>	<p>意見内容を踏まえ、計画の各ページに以下を追記</p> <p>P2 ⇒ (1) 文中に「一部地域では、すでに高齢化率が40%を超えています。」を追加</p> <p>P13.P14 ⇒ «柱2»文化芸術に親しむことができる環境づくり</p> <p>県民の誰もが文化芸術に親しみ、文化芸術がもたらす効果を等しく享受できるように、県内各地の劇場やホール、博物館・美術館などの文化施設において多様な文化事業を展開し、文化芸術に触れ親しむことができる環境づくりを進めます。併せて、地域の自然、歴史、文化等と人々の生活、経済活動等との調和により形成される地域固有の景観を大切に活用していくことで次世代に継承していきます。</p> <p>本県で育まれてきた文化芸術を次代に受け継ぎ発展させていくためには、文化芸術の担い手となる芸術家や文化芸術団体、文化施設の運営やアートマネジメント※1に携わる人の育成・確保が必要です。「福岡県アーツカウンシル※2（仮称）」を設立し、文化芸術を担う人材の育成・支援を行うとともに、県、市町村、大学、民間団体など様々な機関と連携・協働しながら、県内の多様な文化芸術活動が持続的に発展する環境を醸成していきます。</p> <p>また、子どもたちが、日々の暮らしの中で文化芸術に触れること、感じること、学ぶこと、表現することができる機会の充実を図ります。</p> <p>さらに、文化施設以外の地域の居場所等における県民が文化芸術に触れる機会の充実にも努めます。</p> <p>そして、県民がその年齢、障がいの有無や国籍、経済的な状況又は居住する地域にかかわらず、等しく、文化芸術を鑑賞・参加・創造することができるインクルーシブ（社会包摂的）な環境づくりを進めることで、県民全体のウェルビーイングを向上させていくことをめざします。</p> <p>※2日本語では「芸術評議会」と訳され、研究者によれば「文化芸術に対する助成を基軸に、政府・行政組織と一定の距離を保ちながら、文化政策の執行を担う専門組織」と定義されている。</p> <p>P23 ⇒ 「福岡県における文化芸術活動実態調査」の結果から、文化芸術への関心が十分でない県民が多いことが明らかになりました。これはウェルビーイングの向上を目指すうえで、文化芸術が持つ多様な価値が十分に届いていないことの表れであり、県内各地域における文化芸術の鑑賞・体験の機会の提供に依然として地域差が存在するため、関心向上の大きな障壁になっているものと考えられます。</p> <p>P32 ⇒ 文化芸術を触媒として、市町村、民間事業者、県民等と協働しながら、地域の文化芸術活動や伝統工芸、文化資源をまちづくりや産業振興、観光振興等につなげることで、地域に新しい価値や魅力を付加し、地域活性化を図ります。</p> <p>P35 ⇒ (4) 「福岡県アーツカウンシル（仮称）」の設立</p> <p>本県の文化施策を推進する新たな仕組みとして、「福岡県アーツカウンシル（仮称）」設立に向けた検討を進めます。県全体を捉え、より俯瞰的な視点から検討を行い、本県にとって最適な文化芸術活動の支援の仕組みを構築します。</p> <p>設立後は、県、市町村、大学、民間団体など様々な主体と連携・協力しながら、県内の多様な文化芸術活動の活性化を図ります。</p>